〈第36回〉 田迎西1町内子ども会(5) 「ハロウィンお楽しみ会」

育成会会長 卜部菜美子·佐藤有紀、役員 岡本、中川、藤野、宮本、友田(書記)

令和3年10月31日(日) 1 0 時から 4 0 分間、Zoom を使って、オンライン・ハロウィンを行いました。

(9月半ばに、ハロウィンお楽しみ会をどうするか、LINEで役員会議をしましたが、その頃は、デルタ株の感染が広がっており、登校さえも不安に感じる保護者が多い中、子ども会で集まるのは自粛した方がよいのではないかという意見が多く、オンラインで謎解きをしようということになりました。)

佐藤会長が、パワーポイントで謎解きを作ってくださって(イラストは、クリップスタジオというソフトを使って描くそうです)、当日、ホストもしてくださいました。

3人のキャラクター、かいと、ぼるとん、ちゃみーと一緒に、8問の謎を解いていき、答えをメモしておいて、最後に8コの答えを並べると、「なまえかしらもじ」というキーワードが出てきて、3人の名前の頭文字を合わせると、「かぼちゃ」となり、かぼちゃの絵をクリックすると、

宝箱が出てきて、中からプレゼントのお菓子が飛び出すという流 れで、そのお菓子は、あとで役員が担当のお宅へ配りました。



おもしろい問題ばかりで、「楽しい!」という子どもの声も聞こえてきてきました。 ヒントを教え合ったり、参加者同士の交流もあったり、コロナ禍でも、オンラインで繋がるこ とができました!

~考察~

「仮装をして参加してね」と案内したばかりに、それがハードルとなって参加できなかった子もいたようなので、「仮装をして参加してもOK」と案内した方がよかったかなと思いました。また、次回は、佐藤会長にサポートして頂いて、子ども達に、謎解き作り、ホストをやってもらってもいいかなと思いました。







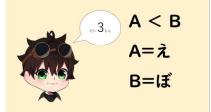




高校生ボランティア安田君作の イラスト











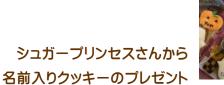
















参加者の様子

《 おうちでの仮装の様子 》





















《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 「コロナ禍だから何も出来ない」ではなくて、コロナ禍だから出来るオンラインでの「ハロウィンなぞとき」という素晴らしいアイディアの活動が出来ましたね。子ども達は学校でタブレットを使ったオンライン授業でその扱いには慣れており、そのこともこの活動にプラスになったと思います。
- ② きれいにレイアウトされた面白い問題、ちょっと頭をひねりながらも解けたら嬉しい問題、 そして、全体を通して問題にストーリーがあるなど、子ども達は40分の短い時間に素晴らし い謎解きの体験が出来たことでしょう。
- ③ 一堂には集まらなくても、それぞれの家庭でハロウィンの仮装を楽しみ、みんながオンラインでも繋がり楽しい一時だったと思います。更に後日このHPに投稿されたお互いの写真を見ることで思い出が蘇ったのではないでしょうか。
- ④ 役員の話し合い、会長の特技のパソコン操作、高校生のオリジナルイラスト作成、お菓子屋さん特製のクッキーのプレゼント、会員の協力と、いろんな人が繋がった企画と行動力が大変素晴らしいです。
- (5) 田迎西1町内子ども会の益々の活躍と子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。